

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：管財課  
 担当名：ファシリティマネジメント担当  
 内線：2603 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	ファシリティマネジメント推進事業費			一般会計	総務費	総務管理費	財産管理費	県有財産管理事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	なし				戦略項目		
<p>1 事業の概要</p> <p>総合的・長期的観点から施設を適正に管理・活用していくためファシリティマネジメントを推進する。</p> <p>委託料の入札差金発生等による減額。</p> <p>(1) ファシリティマネジメントの推進 7,558千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      県有施設をより有効に活用するため、まず施設の劣化状況を把握し、その上で整理・集約の検討を行い、存続させる施設の長寿命化を図るとともに、未利用施設の利活用を行う。</p> <p>(2) 事業計画                      予防的修繕のための個別調査 17,836千円                      各県有施設の劣化状況を実際に調査し、的確な予防的修繕を実施していくため、施設ごとの修繕計画を策定するとともに、整理・集約の検討を行うための基礎的情報を収集する。                      ファシリティマネジメント基本方針(仮称)の策定                      各施設の有効利用の徹底や建て替え時に施設の集約化など、より効率的な県有施設の維持管理を図るため、基本方針を策定する。                      モデル地域のシミュレーション 1,058千円                      有識者や企業との連携によりシミュレーションを行い、効果や実現性を検証する。                      また、関連団体等と連携し、県及び市町村職員のスキルアップ等についても併せて検討していく。</p> <p>(3) 事業効果                      県有施設を適切に管理・活用することで、維持管理費の縮減と県民の安心安全に資することができる。                      平成26年度～                      ・施設ごとの修繕計画を策定するとともに、整理・集約の検討を行うための基礎的情報が収集できる。                      ・今後のファシリティマネジメントの方向性を具体的に定めることができる。                      ・より効率的な県有施設の維持管理を図るとともに、ファシリティマネジメント推進のための技術系職員のスキルアップ等を図ることができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要                      (1) ファシリティマネジメントの推進：委託料の入札差金発生等による減額。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況                      普通交付税(包括算定経費)                      (区分)総務費(細目)財産管理費(細目)財産管理費                      (積算内容)公有財産の管理、営繕</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員                      (1) 人件費 9,500千円×5人=47,500千円                      (2) 組織の新設 ファシリティマネジメント推進担当                      (3) 増員(計5名) 政策幹1名、主幹1名、主査3</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	7,558							7,558	11,336
現計額	18,894							18,894	